

【越前町】

1人1台端末の利活用に係る計画

1. 1人1台端末をはじめとするICT環境によって実現を目指す学びの姿

学習指導要領及び中央教育審議会答申「令和の日本型学校教育」の構築を目指して～全ての子どもたちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～」で述べられているように、「令和の日本型学校教育」を構築し、全ての子どもたちの可能性を引き出す個別最適な学びと協働的な学びを実現するためにはハードウェア・ソフトウェアの計画的な更新など、ICT環境の持続的な安定が必要不可欠となる。

本町では、「町民一人ひとりが幸せを実感し、誇りをもって充実した人生を歩み続けることができる「ふるさと越前町」の創生」を基本理念とし、豊かな人間性を育む学習の推進を目標に掲げており、授業や家庭学習においてICT機器を有効に活用する習慣をつけることで、個別最適な学びや、他者と協働したより深い学びを創像できるよう、ICTを活用した学習活動の充実に努めていく。

2. GIGA第1期の総括

令和2年度の国のGIGAスクール構想を踏まえ、学習者用タブレット 1,551台、指導者用タブレット 265台、校内通信ネットワーク環境を整備した。令和3年度からICT支援員を配置し、教職員や児童生徒の学習活動をサポートし、ICT機器の積極的な活用を促進した。

しかし、ICT機器の活用頻度が増えるにつれてタブレット端末の故障や通信環境の遅延などの課題が出てきた。これらの課題を解決するために、端末更新の際には、児童生徒の学びを止めない観点から十分な予備機を整備していくとともに、ネットワークアセスメントを実施しネットワーク環境の改善を図る必要がある。その他にも、具体的な課題として下記が挙げられる。

- ・1人1台端末をより有効に活用するためのノウハウ・環境が求められる。
- ・より個々人に適した学習の充実が求められる。
- ・困難な状況にある生徒に対する支援が不足している。

3. 1人1台端末の利活用方策

十分な予備機を含め、端末を適切に更新し、1人1台端末環境を維持することを前提として、以下の方策を進めていく。

(1) 1人1台端末の積極的活用

児童生徒が1人1台端末を日常のツールとして使用する環境を整える。ICT支援員を継続的に配置し、ICT活用の各種支援や授業実践事例等の蓄積・情報共有を行う。

(2) 個別最適・協働的な学びの充実

タブレット端末を活用した学習課題への取組により、理解度や学習進度に合わせた個別最適な学びを進める。また、「調べる」「発表・表現する」「やりとりする」という授業場面に応じた端末活用を進め、協働的な学びの充実を図る。

(3) 学びの保障

不登校児童生徒や特別な支援を要する児童生徒等に対して、その実態に応じてタブレット端末を活用した支援を実施する。